

平成 25 年 3 月 19 日

上越市長 村山 秀幸 様

浦川原区地域協議会  
会長 藤田 宏 裕

### 浦川原区の小学校の在り方に関する意見について

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項に基づき、「浦川原区の小学校、中学校の在り方」について自主的に審議した結果、下記のとおり提出します。

#### 記

浦川原区は現行、小学校3校、中学校1校が配置され、児童、生徒の教育環境を支えています。浦川原区の小学校、中学校においても少子化により児童、生徒数が減少し、学校の小規模化が進行しています。

上越市学校適正配置審議委員会が平成22年2月24日、上越市教育委員会へ提出された「上越市学校適正配置の基本的な考え方について（審議のまとめ）」の意見書においては、浦川原区の中保倉小学校、末広小学校は小規模校として位置づけ、小学校の在り方について早急に検討が必要になると指摘しています。

また、近年、小学校から中学校へ移行しての環境に順応できず、不登校やいじめが急増し、また学習についていけなくなる、いわゆる中一ギャップが課題となっており、浦川原中学校のコミュニティスクールにおいても学習についていけなくなる状況が課題となっています。

今後、浦川原区の児童、生徒数の推移、上越市立小中学校適正配置基準を踏まえて浦川原区の小学校の再配置を検討する際は、市で責任を持って地域住民へ説明すると同時に地域住民の意向に十分配慮していただくことを望みます。加えて、中一ギャップの克服が期待できる小中一貫教育について地域住民へ情報提供して進めていただくことを望みます。